

第10回学生のヒマラヤ野外実習ツアー参加者募集

Call for participants to the 10th Student Himalayan Exercise Tour

— 2022年3月、15日間で20万円以内 —

(地学団体研究会・国際 Gondwana 研究連合・ネパール地質学会・ネパール地すべり学会・日本応用地質学会推薦)

造山帯の真髄をヒマラヤで勉強する！

ヒマラヤ地学や野外地質学に造詣の深い日本全国の大学教員、元教員や技術者ら（33人が指導・引率者として登録）がボランティアで、日本の学生に素晴らしいヒマラヤの地学と自然環境を実地で実習指導します。航空運賃、宿泊費、食費、現地ガイドやポーター等の必要経費一切込みで参加費学生1人20万円以内、実施主体の利益なし完全ボランティアのプログラムです。詳細は別紙「第10回学生のヒマラヤ野外実習ツアー実施要項」（下記ホームページ）をご覧ください。

島根大学や山形大学など、17教室・学科では参加学生に対して実習単位の付与が可能になり、或いはその方向を検討中です。なお、本実習ツアーには高校生、中・高校教員や関係分野企業の新人社員のほか、一般市民もご参加頂けます。

本実習ツアーの第1回目は2012年3月に実施され、以後毎年行われてきました。実施報告は日本地質学会 News（22巻4号など毎年の News 誌）や各回ツアーの報告書（フィールドサイエンス出版、ネットで入手可能）、或いは学生ヒマラヤホームページ（下記）でもご覧頂けます。http://www.gondwanainst.org/geotours/Studentfieldex_index.htm



お問合せ・参加お申込み

参加ご希望、あるいはご興味の方は、下記世話人会メンバーのいずれかにご連絡、お問合せ下さい。なお、世話人らは国内外の出張業務など多用のため、ご返事が遅れる場合があります。参加お申込みは吉田勝宛にお願いします。

1. Gondwana地質環境研究所 吉田勝 E-mail: gondwana@oregano.ocn.ne.jp Tel & Fax: 0736-36-7789 / Cellphone & SMS: 080-6112-7789
2. 北大総合博物館 在田一則 E-mail: arita@museum.hokudai.ac.jp Tel: 011-706-2724
3. 島根大学総合理工学部 酒井哲弥 E-mail: sake@riko.shimane-u.ac.jp Tel: 0852-32-6464

単位振替が可能な教室・学科等は上記 URL でご確認ください。単位取得手続き等については、当該教室・学科等の担当教員等にお問い合わせ下さい。

なお、参加者はネパール入国時と日本帰国時に当局によって決められた COVID-19 感染対策（以下）をとる必要があります。ネパール入国では PCR 検査陰性証明とワクチン接種証明の提示で、これは参加者各自での対応をお願いします。日本帰国では3日間の空港近辺のホテルでの待機とその後14日間の自宅などでの健康観察は可能ならば参加者やご家族で、それが困難な方については実習チームが対応に協力します。詳しくは別紙「ネパール入国及び日本帰国に関する両国の入国条件と SHET-10 の対応」をご参照下さい（上記学生ヒマラヤ HP のリンク）。

実施概要（詳しくは上記で実施要綱をご参照下さい）

<参加申込み受付開始>2021年5月10日 <締め切り> 2021年12月末日（参加定員20人に達した時以降はキャンセル待機リストへのご登録となります）。

<実習実施時期（仮日程）> 2022年3月4日～18日、出国から帰国まで15日間。参加費用 学生・大学院生：20万円以内（暫定参加費20万円）、その他の個人参加者：25万円以内、大学・企業などの公費による組織派遣教員/社員：30万円以内。参加申込は吉田勝宛て、申込金（暫定参加費の50%）は申込み時、参加費残額（暫定参加費総額の50%）は2021年12月末日まで。ツアー終了後に残金が出れば返還する。お振込は下記の銀行口座をお願いします。

三菱東京 UFJ 銀行 阿部野橋支店、普通預金口座：6601226、口座名義：Gondwana地質環境研究所 代表 吉田勝



ダウラギリ連峰をバックに、第4回実習ツアー参加の学生達（2015年3月）

学生のヒマラヤ野外実習プロジェクト世話人会
(代表 吉田 勝) 2021年10月1日